【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成20年4月24日(2008.4.24)

【公表番号】特表2007-531910(P2007-531910A)
【公表日】平成19年11月8日(2007.11.8)
【年通号数】公開・登録公報2007-043
【出願番号】特願2007-506198(P2007-506198)
【国際特許分類】
Ｇ０３Ｂ　42/02　(2006.01)
Ｇ２１Ｋ　 4/00　(2006.01)
Ｃ０９Ｋ　11/00　(2006.01)
Ｃ０９Ｋ　11/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０３Ｂ　42/02　Ｂ
Ｇ２１Ｋ　 4/00　Ｌ
Ｇ０３Ｂ　42/02　Ｅ
Ｃ０９Ｋ　11/00　Ｂ
Ｃ０９Ｋ　11/02　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成20年3月4日(2008.3.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
記録蛍光体シートの放射線画像を消去する方法であって、記録された放射線画像が前記記録蛍光体シートからの誘導放出を集めることによって読み取られる、記録蛍光体シートの放射線画像の消去方法において、
先縁および後縁を有する前記記録蛍光体シートを第１の速度で第１の方向に経路に沿って、一つ以上の消去用光源を有する消去領域内に移送する工程と、
前記消去領域内に配置された前記記録蛍光体シートの一部分を前記消去用光源で露光して、前記記録蛍光体シートの露光された前記一部分上の前記放射線画像を消去する工程と、
前記記録蛍光体シートの前記後縁が前記消去領域に入ると前記記録蛍光体シートの移送を停止する工程と、
前記記録蛍光体シートを所定時間前記消去領域内に滞留させる工程と、
前記記録蛍光体シートを前記第１の速度と異なる第２の速度で前記第１の方向と反対の第２の方向に前記経路に沿って移送する工程と、
前記先縁が前記消去領域から出ると、前記記録蛍光体シートを前記第２の速度と異なる第３の速度で前記第２の方向に前記経路に沿って移送する工程と、
を含むことを特徴とする方法。
【請求項２】
請求項１の方法において、
前記第２および第３の速度は、読み取り時に前記記録蛍光体シートから集められた誘導放出の量を決定することによって定められることを特徴とする方法。
【請求項３】

先縁と後縁とを有する記録蛍光体シートから蓄積されたエネルギを消去する装置であって、放射線画像が記録された後、前記記録蛍光体シートからの誘導放出を集めることによって読み取られる、前記記録蛍光体シートからのエネルギの消去装置は、
一つ以上の消去用光源を有する消去領域と、
前記記録蛍光体シートを第１の速度で第１の方向に経路に沿って移送して前記消去領域に入れ、前記消去領域内に配置された前記記録蛍光体シートの一部分を前記光源光で露光して、前記記録蛍光体シートの露光された前記一部分上の前記放射線画像を消去する移送手段と、
（１）前記記録蛍光体シートの前記後縁が前記消去領域に入ると前記記録蛍光体シートの前記移送が停止され、（２）前記記録蛍光体シートが前記消去領域内に所定時間滞留させられ、（３）滞留後、前記記録蛍光体シートが前記第１の方向と反対の第２の方向に前記経路に沿って移送されるようにする制御手段と、
前記第２の方向に前記経路に沿って前記記録蛍光体シートを移送するための、前記第１の速度と異なる第２の速度を決定する決定手段と、
前記先縁が前記消去領域を出ると前記第２の方向に前記経路に沿って前記記録蛍光体シートを移送するための、前記第２の速度と異なる第３の速度を決定する決定手段と、
を含むことを特徴とする装置。